



# しあわせ便り

第26号

しあわせ創研が「長島町の皆様だけ」に、しあわせをお届けします。

発行者：しあわせ創研(社会保険労務士事務所)  
社会保険労務士 門元 隆臣  
携帯電話：090-5249-4848

鹿児島県出水郡長島町蔵之元230番地 〒899-1301

Fax/Tel: 0996-88-5326

Mail: info@shiwase-ci.com

WebPage URL: http://shiwase-ci.com/

スマホ登録  
QRコード



～ご相談はご連絡いただければ当方が伺います～

しあわせ便りは一人の社会保険労務士、門元隆臣の個人的見解を発信しているものであり、他の社労士諸氏にはまた別の考え方もある旨ご承知おきください。

## ◆気になるあれこれ「2030年 コロナ後の世界1」

人類は過去、様々な感染症(伝染病)によって多くの苦難を経験している。今のように人の往来が容易でない時代においても、ペストやコレラなどで多くの国で多くの人が命を失ってきた。

しかし、人類は絶滅することなくそれを乗り越えてきた。それは医学や化学の力であり、人間が免疫を持つという進化の賜物だ。免疫を獲得するというのは、人類の進化の一つであると思う。

現代においても国によっては根絶されてない感染症も多くある。日本でも結核やインフルエンザなどで亡くなる人はいまだ少なくない。

医療関係者でもなく、経済の専門家でもないが、市井から近未来を俯瞰する夢物語にお付き合い願おう。

### 〈プロローグ〉

テレビをつけると、アナウンサーが少し離れた席にいるコメンテーターと話をしている。口元には何か装置のようなものが付いている。十年ほど前、世界中で流行した感染症対策としてマスクを付けることが推奨されたが、息苦しさや表情が分かりにくいなどの弊害もあった。どこかのベンチャー企業が軽量で柔軟性があり、呼吸を助ける機能を持ったマスクを開発したのは数年前だ。

そのマスクは装着する人の表情と感情をセンサーで読み取り、表面の表示装置で唇や頬などの動きを表示する機能を備えており、いくつかの弊害を軽減する画期的な物であった。しかし、こういった装置もいずれ不要になるだろう。アナウンサーは近年、その感染症の発症数が減少していると話す。

コメンテーターは、数年前に開発された治療薬の効果とワクチン、それによって人類が得た免疫が感染症の発症を抑え、極度に恐れる病気ではなくなっているとの見解を述べる。

画面はどこかのオフィスからの中継に変わっている。大企業のようなのだが、社内で働いている人は少ない。あの感染症以来、テレワークの可能性を模索した結果、社員が出勤しなくても業務に支障を来さない働き方が確立されたようだ。

反面、人と関わらないと成り立たない仕事も存在する。そのような業種でも、新たな通信や物流の手法が用いられている。感染症前は、一分一秒を競っていた社会が、徐々に寛容な社会に変化している。それぞれが持つ情報端末で家族や他人、社会とコミュニケーションをとることが容易になり、それが人々の心に余裕を持たせることになっているのだろう。

感染症流行前は拡大・膨張を競ってきた世界だが、抗うことのできない脅威があることに気づき、走る速度を緩めて考える十年となった。

・・・つづく

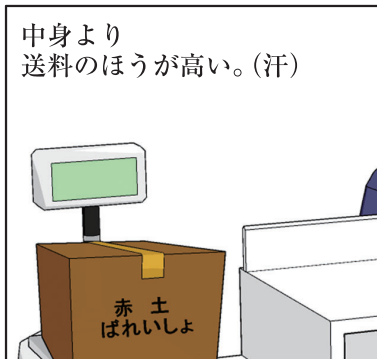
4コマまんが

行け、しあわせさん!!

Vol.26 心苦しいしあわせ



この時期、  
親戚に長島の特産品を  
送ることがある。



中身より  
送料のほうが高い。(汗)



まいど～  
そして、  
いつも高価な  
返礼が届く。



心苦しい。  
でも、とてもうれしい!!!

## 7月の総務課ダイアリー

- ・ 7月10日…源泉所得税・源泉所得税特例納付期限  
労働保険年度更新及び第1期(全期)保険料納付期限  
社会保険算定基礎届提出期限

## お知らせ

新型コロナウイルス支援の持続化給付金、補正予算決定!!

個人事業100万円、法人事業200万円まで給付・返済不要

詳細のお問合せ・申請支援は、しあわせ創研まで